



国際エネルギー機関

工場や建築物における エネルギー高効率利用のフロンティア

大手町サンケイプラザ 4階・ホール
2004年1月19日(月)

- 参加費 : 無料
- 同時通訳 : 有 (日本語・英語)
- 参加申込 : 下記の ECCJ ホームページのご案内に従って登録が必要です。
<http://www.eccj.or.jp/intnl/03workshop/index.html>

国際エネルギー機関 (IEA) / 経済産業省 (METI)
新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
/ 省エネルギーセンター (ECCJ)

背景

地球温暖化問題、エネルギーセキュリティに対応するため、政府、民間部門において、これまでエネルギーの高効率利用に向けて、様々な技術開発、各種施策及び対策に基づく様々な取組が行われてきています。しかしながら、ESCO 事業などのビジネスモデルの積極的利用や IT 技術の活用を通じて、工場や建築物のエネルギー総合管理等を図ることにより、エネルギーの高効率利用を図るポテンシャルは、依然残されています。

また、建築物及び工場単位のエネルギー高効率利用をさらに進め、コンビナート内の複数の工場間や地域における事業所間の余剰なエネルギーを有効活用することにより、単体の域を越えた省エネの余地が広がる可能性があります。

本ワークショップでは、現在 IEA 加盟各国で進められているエネルギーの高効率利用に係る先進的な取組について、各国及び我が国の関係者 (政府、民間部門等) が紹介を行い、情報を共有するとともに、今後の政府、民間部門の役割、連携について、議論を行います。これにより、次世代型エネルギー高効率利用に向けて、今後の可能性や方向性を模索していきます。

目的

本ワークショップでは、工場や建築物におけるエネルギーの高効率利用のフロンティアとして、以下の3点のテーマを取り上げ、議論を行います。

単体の工場・建築物におけるエネルギー総合管理等による高効率利用を進めるための先進的な取組や技術 (ケーススタディを含む)

コンビナート等、複数の事業所等におけるエネルギー高効率利用の新しい取組や技術 (ケーススタディを含む)

上記エネルギー高効率利用のための政府 (中央、地方) ・民間部門の役割・連携のあり方と課題

プログラム

共同議長： フィルハリントン（国際エネルギー機関）
佐藤 樹一郎（経済産業省）

	開会セッション： 事務局：財団法人 省エネルギーセンター・国際協力部 関山 武司	
9:30	歓迎挨拶； 経済産業省	経済産業省、資源エネルギー庁、省エネルギー・新エネルギー部、政策課 課長 樋口 勉
9:35	開会挨拶； 財団法人 省エネルギーセンター	財団法人 省エネルギーセンター 専務理事 河野 修一
9:40	議長挨拶； 国際エネルギー機関	国際エネルギー機関、エネルギー効率技術&研究開発局、エネルギー効率政策課 課長 フィルハリントン
9:45	趣旨説明； 経済産業省	経済産業省、資源エネルギー庁、省エネルギー・新エネルギー部、省エネルギー対策課 課長 佐藤 樹一郎
	セッション 1： 単体の工場・建築物におけるエネルギー総合管理等による高効率利用を進めるための先進的な取組や技術についての事例紹介を行います。	
9:50	日本の ESCO 産業における最近の状況と今後の課題	株式会社 住環境計画研究所 所長 中上 英俊
10:10	収着 – 新しいエネルギー貯蔵技術	ドイツ応用エネルギー調査センター Dr. アンドレアス ハワー
10:30	IT 技術を活用した BEMS システム構成	ジョンソンコントロールズ株式会社、ソリューション営業本部 部長 町田 哲哉
10:50	質疑応答、ディスカッション	
11:20 - 13:00	昼食・休憩	
	セッション 2： 単体の工場や建築物では限られていたエネルギーの高効率利用も、コンビナートや地域において複数の主体が連携し、余剰エネルギーの有効活用を行うことにより、さらに大きな高効率利用の余地を生み出すことができます。これらの複数主体間のエネルギーの補完活用、最適な連携実現のための手法についてケーススタディを含めた説明を行います。	
13:00	コジェネレーション（熱電併給）及び発電を含む産業・地域間のエネルギー供給システム統合について	ヘルシンキ技術大学、エネルギー工学・環境保全部 教授 カール・ヨハン フォゲルホルム

13:20	省エネルギー技術におけるピンチテクノロジーの位置付け	独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構、省エネルギー技術開発部 部長 殿村 重彰
13:35	ピンチテクノロジーを用いたコンビナートのエネルギー共有の展開 【千葉コンビナートのケーススタディ】	千代田化工建設株式会社、省エネルギー（ESCO）チーム チームリーダー 松田 一夫
13:50	単一工場の省エネ診断・対策から複数工場間もしくはコンビナートの省エネ診断・対策に向けて 【水島コンビナートのケーススタディ】	独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構、エネルギー対策推進部 主査 森田 光宣
14:05	ロッテルダムにおける地域、産業の持続可能エネルギープロジェクト	オランダエネルギー・環境省（NOVEM）、ヒートポンプセンター（HPC） 部長 ジョス ブーマ
14:25	質疑応答、ディスカッション	
14:45 - 15:10	休憩	
	セッション3： 工場や建築物におけるエネルギー高効率利用のための政府、民間部門（企業等）の連携、役割分担において想定される障壁（法等の規制、技術的課題及び技術的ブレークスルー、環境要因等）、解決方策についての事例紹介と説明を行います。	
15:10	更なる省エネ推進のための政府の役割と各主体への期待	経済産業省、資源エネルギー庁、省エネルギー・新エネルギー部、省エネルギー対策課 課長 佐藤 樹一郎
15:30	省エネルギー推進のためのメータリングシステム、テレコミュニケーション活用について 【カリフォルニアのケーススタディ】	米国・カリフォルニアエネルギー委員会（CEC） 委員アドバイザー ジョン ウィルソン
15:50	エネルギー効率化：国際的視野からの政府の役割	国際エネルギー機関、エネルギー効率技術&研究開発局、エネルギー効率政策課 課長 フィルハリントン
16:10	オープン・ディスカッション	
16:50	閉会セッション： 議論結果総括及びコメント（共同議長）	
17:00	閉会	

尚、上記のプログラムの演題には仮題を含んでおり、また内容につきましては変更があり得ることをご了承下さい。